



公 示

下記のとおり一般競争入札を行いますので競争参加資格申請書及び技術資料の提出を公募します。

記

1. 工事内容

- (1) 工 事 名 「シンクロトン棟 地下トレンチ内冷水配管保温補修工事 一式」
(2) 工事場所 兵庫県佐用郡佐用町光都1丁目1番1号
(3) 工事概要 シンクロトン棟空調機設備への冷水配管の保温材が、地下トレンチ内で劣化・破損・脱落し、内部のグラスウール材が湿気を持ち保温効率が低下しているため、保温材を更新する工事である。
(4) 工事内容 別添え<工事細目>参照
(5) 引き渡し期日 平成24年3月30日

2. 競争参加資格

- (1) 独立行政法人理化学研究所の契約事務取扱細則第5条の規定に該当しない者であること。
(2) 独立行政法人理化学研究所又は文部科学省において、平成23年度における「管工事」の競争参加資格の認定を受けていること〔会社更生法（昭和27年法律第172号）に基づき更正手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、独立行政法人理化学研究所が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再確認を受けていること。〕。競争参加資格の認定が「管工事」のC等級及びB、A等級であること。
(3) 平成13年度以降に、元請により完成・引渡し完了した同種工事の施工実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上のものに限る。）
(4) 建設業法（昭和24年法律第100号）上の「管工事業」につき、許可を有して営業年数が3年以上であること。
(5) 次に掲げる基準を満たす主任技術者または監理技術者を当該工事に配置できる者であること。
①建設業法第7条第2号イロまたはハのいずれかに該当する者であること。
②配置予定技術者が監理技術者である場合には、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者又はこれに準ずるものであること。この場合には、同資格証及び同修了証の写しを提出すること。
(6) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び技術確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から入札の時までの期間に、独立行政法人理化学研究所の工事請負契約に係る指名停止等を受けていないこと。

3. 申請手続等

当研究所は、競争参加希望の者に対し、競争参加資格を確認するため、競争参加希望者から申請書及び資料の提出を求める。

(1) 申請関係配布資料の交付期間、場所

交付期間 平成24年1月4日（水） から 平成24年1月20日（金）

交 付 理研ホームページURL: <http://choutatsu.riken.jp/r-world/info/procurement/>
「建設工事」からダウンロードすること。

担 当 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1

独立行政法人理化学研究所 播磨研究所 研究推進部
経理課〔担当：横尾〕

(2) 申請書及び資料の提出期限、場所及び方法

提出書類 申請書（競争参加資格確認申請書）及び資料（技術確認資料）
提出期限 平成24年1月25日(水) 17時00分まで
場 所 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1
独立行政法人理化学研究所 播磨研究所 研究推進部 経理課
方 法 持参

(3) 確認通知

申請書及び資料の提出者に対し、競争参加資格を確認したうえ文書により通知する。
競争参加資格が確認されなかった者に対してもその旨を同様に通知する。
通知日 平成24年1月27日(金)

4. 落札者の決定方法

(1) 入札日時及び場所

日 時 平成24年2月9日(木) 15時00分
場 所 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1
独立行政法人理化学研究所 播磨研究所

(2) 落札者の決定方法

当研究所が定める予定価格の制限の範囲内で、最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする（落札者がいないときは、必要に応じて再度入札を繰り返し行うことがある）。なお、落札となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、当該入札者によりくじで落札者を決定する。また、入札参加資格のない者の行った入札及び入札条件に違反した入札は、無効とする。

(2) 落札者の周知方法

落札者の決定と同時に、入札会場で入札者全員に口頭で周知する。

(4) 詳細は入札説明書による。

(5) 契約に係る情報の公表：当研究所と一定の関係を有するものと契約する場合には、当研究所からの契約者への再就職状況等について公表を行うものとする。詳細については、以下を参照のこと。

URL : <http://choutatsu.riken.jp/r-world/info/procurement/info/detail/id/000004431>
以上

工事細目

(1) 地下トレンチ内冷水配管保温修理

作業内容 : 既設保温材を撤去して新保温材で復旧する。

保温工法 : 既設配管保温は、グラス保温工法である。しかし地下トレンチは、雨水、湧水により湿気が多く、またゲリラ雨水により時々浸水することがある。その為、既設保温材による復旧では吸湿が多くまた劣化進行が早いのではと考える。その為、検討した結果、グラス保温材より吸湿が少なく、保温材の落下があっても修復が簡単なポリスチレンフォーム(ハツポウスチロール系)工法を実施する。

I. 既設保温材撤去 (約9m³)

イ. 50A配管 : 60m : GW保温、防水麻布他

ロ. 125A配管 : 65m : GW保温、防水麻布他

ハ. 150A配管 : 220m : GW保温、防水麻布他

ニ. 200A配管 : 30m : GW保温、防水麻布他

II. 新保温材取付

イ. 50A配管 : 60m : ポリスチレンフォーム保温40t、着色ALGC

ロ. 125A配管 : 65m : ポリスチレンフォーム保温40t、着色ALGC

ハ. 150A配管 : 220m : ポリスチレンフォーム保温40t、着色ALGC

ニ. 200A配管 : 30m : ポリスチレンフォーム保温40t、着色ALGC

III. 表示ステッカー貼り (配管名、流量方向矢印 : 1式)

イ. 表示ステッカー貼付箇所は、事前に写真撮影し報告する。

ロ. 表示ステッカー貼付箇所写真は、報告書で報告する。

(2) 作業状況撮影(デジタルカメラの使用可)

(3) 作業後の周囲清掃